

第1回 PH シンポジウム

プログラム ・ 講演要旨集

Beyond the anti-A β Therapy — 認知症治療薬の新たな可能性に向けて —

令和8年5月30日(土)

日本大学理工学部 駿河台キャンパス 1号館 CST ホール



主催：公益社団法人 日本薬学会 生物系薬学部会

ご挨拶

GREETING

第1回 PH シンポジウム 開催にあたって

— 認知症：不治とされた病の克服への飽くなき挑戦 —

このたび、2026年5月30日（土）に、日本大学理工学部 駿河台キャンパスにて、第1回 PH シンポジウム（主催：日本薬学会 生物系薬学部会）を開催させていただくことになりました。

日本薬学会生物系薬学部会では基幹イベントとして Pharmaco-Hematology シンポジウムを設置し、25年にわたり大学・研究所・企業研究所等で血液関連（血栓症、脂質代謝疾患、感染症、炎症、がん、貧血、凝固・線溶、造血、免疫などの生理作用）研究者のための学術研究、教育活動を推進してきました。このたび、血液関連にとどまらず、より広く生物系薬学分野における最新の研究成果を共有することで学術交流の促進並びに若手研究者の育成を目的としてシンポジウム名を PH シンポジウムと改称し、本年を第1回として開催させていただく運びとなりました。

第1回となる本年のシンポジウムでは、「認知症—不治とされた病の克服への飽くなき挑戦」を主題とし、認知症治療研究の最前線で活躍される研究者をお招きいたします。我が国では超高齢社会の進展に伴い、認知症をはじめとする神経変性疾患の克服が医療・薬学領域における喫緊の課題となっております。特にアルツハイマー病治療薬の開発においては、抗 $A\beta$ 抗体療法の実用化が新たな局面を迎える一方、さらなる治療効果の向上および新規治療標的の探索が強く求められております。そこで特別講演に認知症研究の第一人者としてご高名な東京都健康長寿医療センターの岩田淳先生をお迎えし、「抗 $A\beta$ 抗体療法の社会実装」に関するご講演をいただきます。また一般シンポジウムにおきましては、「Beyond the anti- $A\beta$ Therapy：認知症治療薬の新たな可能性に向けて」をテーマとして国内の著名な研究者をシンポジストとしてお招きし、認知症に関する新たな治療戦略についてご議論いただきます。

さらに学生の研究活動を奨励するため「学生優秀発表賞」を設け、未来の薬学研究を担う若い世代の積極的な参加を期待しております。次代を担う若手研究者が各分野の第一人者と交流を深めることができる場を提供するのも、本会の特徴のひとつです。

会場となる日本大学理工学部は JR「御茶ノ水」駅・東京メトロ「新御茶ノ水」駅から徒歩3分と好アクセスです。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

第1回 PH シンポジウム 実行委員長

榛葉 繁紀

日本大学 薬学部

会場案内

ACCESS

■ 会場

日本大学 理工学部 駿河台キャンパス
1号館 CST ホール (6F)

所在地 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

■ 交通アクセス

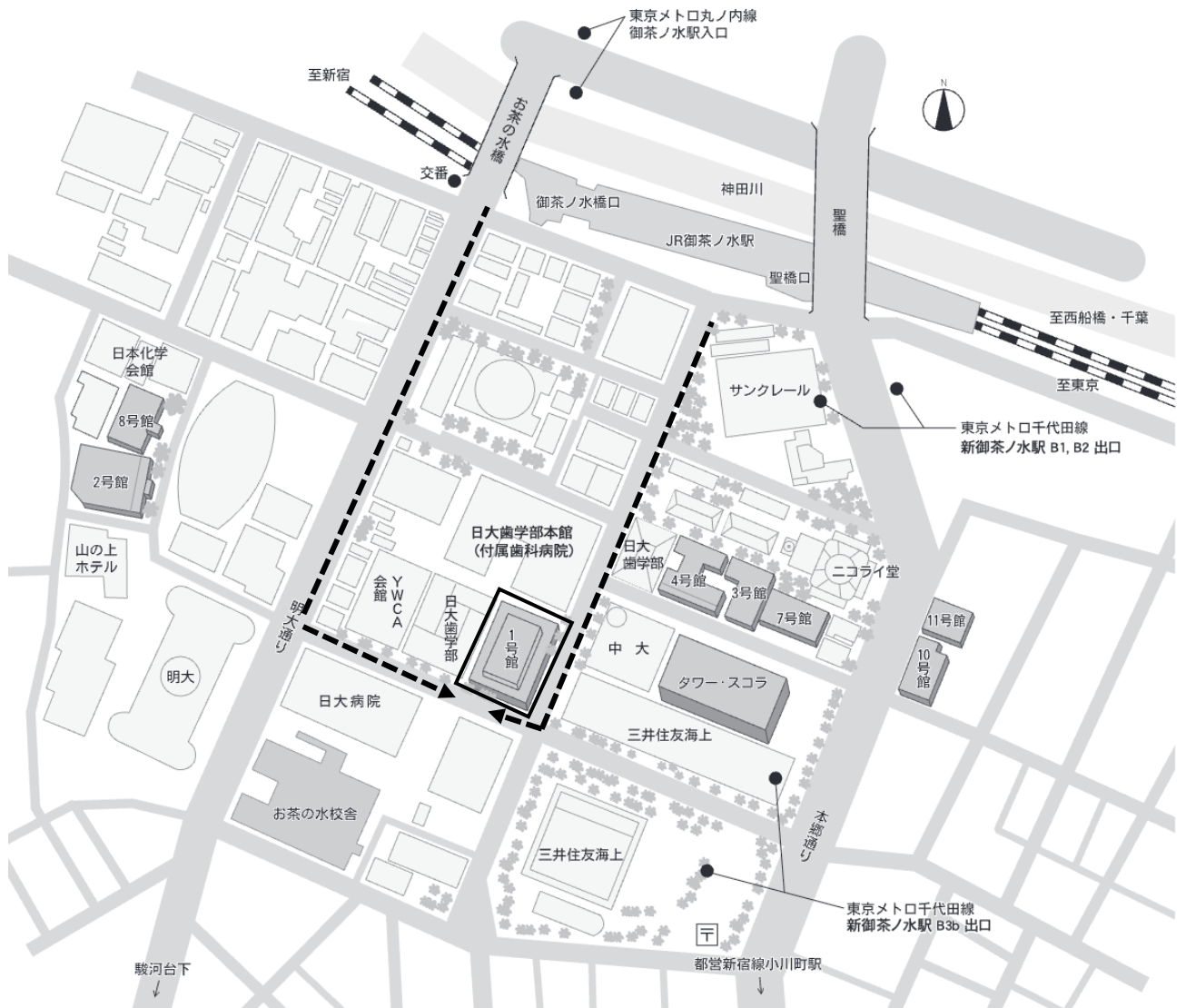
路線	最寄り駅	出口	徒歩
JR 中央・総武線	御茶ノ水駅	聖橋口 御茶ノ水橋口	約 3 分
東京メトロ 丸ノ内線	御茶ノ水駅	1 番出口	約 5 分
東京メトロ 千代田線	新御茶ノ水駅	B1 出口	約 3 分
都営地下鉄 新宿線	小川町駅	B5 出口	約 7 分

■ ご来場にあたって

- ・ 受付は **8:30** より 1号館 6階 CST ホール前にて開始します。
- ・ 来場には公共交通機関をご利用ください。一般来場者用駐車場はございません。
- ・ 近隣はオフィス街・学生街につき、昼食店舗は十分ございますが、当日は混雑が予想されます。

■ 周辺マップ

御茶ノ水駅・新御茶ノ水駅周辺 (神田駿河台エリア)



※ 本マップは概略図です。詳細は日本大学理工学部公式サイト (<https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/>) をご参照ください。

参加者へのご案内

FOR ATTENDEES

◆ 受付

8:30 より、会場(1号館6階 CST ホール前)に設置した受付デスクで行います。事前参加登録がお済みの方は、お名前を申し出ていただき、参加証と要旨集をお受け取りください。

当日参加登録の方は、受付にて所定の参加申込書に必要事項を記入の上、参加費をお支払いください(現金に限る)。当日登録の場合、事前登録と参加費が異なる場合がありますので、ご注意ください。無料聴講される方におかれましても、必ず参加登録をお願いします。

[当日登録 参加費]

薬学会 会員 (事前)	薬学会 会員(当日)	非会員	学 生・大学院生
3,000 円	4,000 円	4,000 円	無 料

※ 上記は一般口演、シンポジウム「Beyond the anti-A β Therapy : 認知症治療薬の新たな可能性に向けて」、特別講演の参加費です。

※ 特別講演(日本薬学会 生物系薬学部会 公開講演会)のみの参加は無料です。

◆ 学生優秀発表賞

世話人および座長の投票形式により、学生優秀発表を選出します。PI(指導教員)の方は、要旨集とともに受付にてお渡しした投票用紙に演題番号をご記入の上、**13:30 までに**投票ボックスへお入れください。

[対象演題]

01-1	比留川 喬頼	帝京大学・薬・病態生理学
01-2	鈴木 宙夢	日本大・院薬・健康衛生学
01-3	木村 信之介	東北大・薬・衛生化学
01-4	新垣 友祥	東京大・院薬・衛生化学
02-1	郷田 健一郎	千葉大・院薬・免疫微生物学
02-5	笹島 麻衣	慶應大・院薬・衛生化学
03-1	荻山 依睦	東京理科大学・院理・化学
03-2	王 澤平	早稲田大・院先進理工・電気情報生命
03-3	加藤 優英	明治薬科大・院薬・病態 RNA 制御学
03-4	村上 友貴矢	東京薬科大・院理・機能形態学
03-5	日下部 竜聖	横浜薬科大・院薬・漢方天然物化学
03-7	青木 祐賢	明治薬科大・院薬・病態 RNA 制御学

◆ クローク

会場内にクローク・コインロッカーはございません。お手荷物は各自で管理をお願いいたします。

◆ 昼食

弁当等の販売はございません。会場内は飲食可能です。御茶ノ水・神保町周辺には飲食店が多数ございますが、当日は混雑が予想されます。

◆ 世話人会

PH シンポジウム世話人会は、当日 12:46 ～ 13:30 に 1 号館 122 教室 で開催します。世話人の先生方はご参集ください。

◆ 撮影・録音について

講演会場でのカメラ、ビデオ、携帯電話、スマートフォン等による撮影・録音は固く禁止します。

◆ 喫煙について

本キャンパス内は禁煙です。

◆ 無線 LAN

大会会場では eduroam をご使用いただけます。ただし電波状況によって、大会会場内でも接続できない箇所がある場合がございます。eduroam は国内外の大学等教育研究機関の間でキャンパス無線 LAN の相互利用を実現するサービスです。下記の URL に記載されている eduroam 参加機関にご所属の方は、eduroam に接続するためのアカウントを所属機関で取得することができます。

<http://www.eduroam.jp/participants/siteinfo.html>

アカウントの取得方法については、ご所属の機関にお問い合わせください。

また、接続方法については以下のページをご参照ください。

https://www.eduroam.jp/for_users/

◆ 薬剤師研修単位の取得

プロバイダーごとに単位認定の方法が異なります。各案内をご確認下さい。時間外の受付は行いません。

■ 日本薬剤師研修センター (G01) : 2 単位

1. 薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度の規定に則って扱います。各自でご確認ください。
2. 薬剤師研修・認定電子システム (PECS) への事前登録により、ご自身の QR コードを取得し、当日お持ちください(ご自身の QR コードを読み取れる状態でご準備ください)。
3. 入場時および退場時に、必ず PECS 読み取り装置により QR コードを読み取ってください。読み取れない場合、単位は認められません。

入場受付 13:00 ～ 13:30 退場受付 16:40 ～ 17:00

4. PECS の QR コード読み取り装置は、受付 (1 号館 6 階 CST ホール前) に設置します。

■ 日本病院薬剤師会 : 2 単位

[注意事項] 薬剤師名簿登録番号が必要となります。時間外の受付は行いません。

1. 日本病院薬剤師会の病院薬学認定薬剤師制度の規定に則って扱います。各自でご確認ください。
2. 受付 (1 号館 6 階 CST ホール前) で単位申請説明書をお受け取りください (入場受付 13:00 ～ 13:30)。
3. 単位取得には HOPESS (病院薬剤師会研修管理システム) への登録が必要です。記載されている

URL (QR コード) より HOPESS にアクセスし、開催翌日 23:59 までに単位申請を行ってください。

4. 申請には 2 点のキーワード (シンポジウム途中に会場内・受付に掲示、終了後にも会場内・受付に掲示) が必要です。忘れずに控えてください。

■ 日本大学 (G17) : 2 単位

[注意事項] 公開講座 (特別講演) およびシンポジウムの両方に参加された方が対象となります。時間外の受付は行いません。

1. 受付 (1 号館 6 階 CST ホール前) で単位申請説明書をお受け取りください (入場受付 13:00 ~ 13:30)。記載の QR コード (URL) から Google フォームにアクセスし、開催翌日 23:59 までに単位申請を行ってください。受講証明書は後日、郵送いたします。
2. 申請にはキーワード (シンポジウム途中・終了後に会場内および受付に掲示) が必要です。忘れずに控えて下さい。
3. ご不明な点がございましたら、日本大学薬学部 生涯研修認定制度の担当窓口までお問い合わせください。(TEL : 047-465-3895)

発表者へのご案内

FOR PRESENTERS

◆ 発表時間

カテゴリ	総時間	発表	質疑
特別講演(公開講演会)	60分	50分	10分
シンポジウム講演	30分	25分	5分
一般口演	13分	10分	3分

◆ 発表者受付

- ・ 発表される方は、必ず受付で発表者である旨を申し出てください。
- ・ 8:30~8:50 に会場にお越しいただき、スライドの確認をお願いいたします。

◆ 会場

- ・ 日本大学 理工学部 駿河台キャンパス 1号館 CST ホール (6F)

◆ 発表方法

- ・ 一般講演の進行が密であるため、発表は会場備え付けの PC で行います。各自の PC のご持参・接続は原則として不可とさせていただきます。
- ・ 発表データは事前にお預かりし、会場 PC にコピーします。下記のとおりご提出ください。
- ・ 事前提出: 開催日 5 日前までに、下記アップロード先 (Dropbox) に PowerPoint ファイル (.pptx) ならびに PDF ファイル (.pdf) をアップロードしてください。

アップロード先: <https://www.dropbox.com/request/q1inds8o4htjxpp9ofpx>

- ・ 当日提出 (補助): 念のため当日 USB メモリでもバックアップをご持参ください。受付にて発表前にお預かりし、会場 PC にコピーいたします。
- ・ ファイル形式: PowerPoint (.pptx) または PDF。スライドは 16:9 (推奨) または 4:3 の比率で作成してください。動画・音声を含む場合はファイル単体で再生確認できることをご確認の上、お預けください。
- ・ 会場 PC の OS およびソフトウェア: Windows 11、Microsoft PowerPoint(最新版)、Adobe Acrobat Reader。フォント環境による表示崩れを避けたい場合は、PDF 形式での提出を推奨いたします。
- ・ お預かりしたデータは、シンポジウム終了後に事務局にて速やかに消去いたします。
- ・ 発表 10 分前までに、会場内の次演者席にご着席ください。

◆ シンポジスト・座長の先生方へのお願い

- ・ シンポジスト・座長の先生方は、セッション開始 20 分前までに受付へお越しください。

プログラム

PROGRAM

08:30 受付開始

08:55 開式挨拶

一般講演 9:00 – 12:46

(昼休みを含む)

【Session 1】 脂質代謝・内分泌・循環器の病態機構 09:00 – 09:52

座長：菱田友昭（大阪医科薬科大）

O1-1	09:00 – 09:13	エライジン酸への曝露が血管内皮細胞の機能と形態に与える影響 ○ 比留川 喬頼 [学生]（帝京大学・薬・病態生理学）
O1-2	09:13 – 09:26	脂肪性膵疾患を発症した CreER マウスの解析 ○ 鈴木 宙夢 [学生]（日本大・院薬・健康衛生学）
O1-3	09:26 – 09:39	統合オミクス解析を基盤としたトランス脂肪酸に対する生体応答機構の包括的解析 ○ 木村 信之介 [学生]（東北大・院薬・衛生化学）
O1-4	09:39 – 09:52	PAQR5 は PS リモデリングを介してフェロトーシスに関与する ○ 新垣 友祥 [学生]（東京大・院薬・衛生化学）

【Session 2】 細胞制御・免疫・がん・再生の最前線 10:00 – 11:05

座長：近江純平（東北大）

O2-1	10:00 – 10:13	T細胞老化における糖鎖の発現解析 ○ 郷田 健一郎 [学生]（千葉大・院薬・免疫微生物学）
O2-2	10:13 – 10:26	部分的リプログラミングによる肝再生能亢進 ○ 菱田 友昭（大阪医薬大・薬・生化学）
O2-3	10:26 – 10:39	皮膚における機械的アロネーシスの調節機構の解明 ○ 古宮 栄利子（順天堂大・薬・機能形態学）
O2-4	10:39 – 10:52	同一症例の比較解析に基づく甲状腺未分化転化の分子機構の検討 ○ 齋藤 菜緒（東邦大・薬・病態生化学）
O2-5	10:52 – 11:05	Methotrexate による葉酸代謝依存的な TEL-JAK2-STAT シグナル抑制 ○ 笹島 麻衣 [学生]（慶應大・院薬・衛生化学）

【Session 3】 脳神経系疾患のメカニズム解明と創薬アプローチ 11:15 – 12:46

座長：根本清光（日本大）、和田平（日本大）

O3-1	11:15 – 11:28	CAPON-nNOS 複合体形成を促進する二重特異性アプタマーの開発 ○ 荻山 依睦 [学生] (東京理科大・院理・化学)
O3-2	11:28 – 11:41	Aβ およびタウ病理を同時に再現可能なヒト iPS 細胞由来三次元神経培養を用いた創薬スクリーニングへの応用可能なモデルの構築 ○ 王 澤平 [学生] (早稲田大・院先進理工・電気情報生命)
O3-3	11:41 – 11:54	sQTL を端緒とした PTK2B exon31 スプライシングの機能的意義の解明 ○ 加藤 優英 [学生] (明治薬科大・院薬・病態 RNA 制御学)
O3-4	11:54 – 12:07	加齢に伴う視床特異的アミロイド抗体陽性凝集体 (Aβ 凝集体) は, Pin1 の欠損により巨大化する ○ 村上 友貴矢 [学生] (東京薬科大・院薬・機能形態)
O3-5	12:07 – 12:20	ドラッグリポジショニングによるアルツハイマー病治療薬の開発研究 ○ 日下部 竜聖 [学生] (横浜薬科大・院薬・漢方天然物化学研)
O3-6	12:20 – 12:33	ALS における TDP-43 細胞間伝播の真の責任構造体の同定 ○ 徳田 栄一 (日本大・薬・臨床医学)
O3-7	12:33 – 12:46	MBNL1 発現低下を促す筋強直性ジストロフィー新規分子機構 ○ 青木 祐賢 [学生] (明治薬科大・院薬・病態 RNA 制御学)

12:46 – 13:30 昼食・世話人会

特別講演 13:30 – 14:30

日本薬学会 生物系薬学部会 公開講演会

[SL] 「抗 A β 抗体療法の社会実装」

東京都健康長寿医療センター 副院長／認知症未来社会創造センター センター長
岩田 淳

座長 厚味 巖一（帝京大学）

シンポジウム 14:40 – 16:40

Beyond the anti-A β Therapy

認知症治療薬の新たな可能性に向けて

座長 宮坂 知宏（日本大学）

[S-1] 認知症病態におけるタウオリゴマーの重要性と創薬

添田 義行（日本大・薬・機能形態学）

[S-2] アグリファジー誘導化合物 ADI (Aggregate Degradation Inducer) の開発

松本 弦（大阪公立大・院医・神経疾患制御学）

[S-3] アルツハイマー病発症機構におけるグリア応答と免疫関連

齊藤 貴志（東京大・院医・神経病理学）

[S-4] 認知症治療・予防薬創成に向けた新たなアプローチ

富田 泰輔（東京大・院薬・機能形態学）

16:40 – 17:00 閉会式
